

高齢者体験授業計画

時数	ね ら い	内 容	指導担当	
			通常担任	通級担当
		今後の学習計画を予測する	○	web形式
2	A ブ ロ ッ ク	学習計画を知る	△	○
		高齢者に関する基礎知識を知る		○(久保山先生の講義)
1		既存の体験を基に自分で体験を組み立てる	○体験内容の確認など	○体験グッズの用意など
1日		一日体験を行う	○	
1		疑似体験に関するまとめを行う	○	△
3	B ブ ロ ッ ク	ディケア施設の存在を知り見学をし通所高齢者との交流をする	○(話し合い素材や道具の用意等)	○(ディケア施設との渉外)
2		学区内にある老人会の方々との交流	○(話し合い素材や道具の用意等)	△(管理職との調整)
5		自分の課題を調べ、自分の考えをまとめる	○	△
1		発表する	○	△

小学校の卒業が間近になりました・・・

今年は 高齢者疑似体験



今の私が考える
「やさしさってなんだろうな？」

学習のねらい 1

学習をふり返り

高齢者疑似体験（6年）
車いす体験（5年）
聴覚障害疑似体験（4年）
視覚障害疑似体験（3年）
ことばあそび（1、2年）



「やさしさってなんだろうな？」を
定義してみよう

「やさしさってなんだろうな？」を
もう一度見直してみよう。



学習のねらい 2 高齢者疑似体験（6年）

1. 疑似体験を通して 高齢者について学ぼう
2. 高齢者の方々とはなし
あってみよう
3. 自分の考えをまとめよう

「やさしさってなんだろうな？」を
もう一度見直してみよう。

「やさしさってなんだろうな？」を
もう一度見直してみよう。



学習の進め方

疑似体験を通して
高齢者について学ぼう

1. 高齢者についての基礎知識
2. 高齢者疑似体験の企画書
作成と一日疑似体験の実施
3. 体験結果のまとめ。（パ
ワーポイント、ワード、手書
き テジカメなども使って）

高齢者疑似体験企画書

6年 組 名前

高齢者疑似体験を行うにあたって	1. 登校時より下校時までのまる一日疑似体験をおこなうことを基本とします。 2. 従って、あまり多くの装具をつけると、不便さを超えて苦痛を味わうことになります。 3. 二つくらいの装具で体験しましょう。 4. 安全第一です。階段や歩行 運動など気をつけて。もちろん周りの人もその人を高齢者だと思って、気配りをしてください。高齢者への思いやりの練習です。
疑似体験で感じてみたい、変化	擬似的に低下させる能力：視覚・聴覚・触覚・体の変化（動き 制限）・記憶・集中力 どのような場面でそれらの能力が支障となると考えているか？
そのための方法	どのような 装具を 用いるか？ 装具以外に お年寄り扱いをされることに対してどう感じるか？
記録の取り方	後でみんなに発表するには どのような記録をどのような方法で取っておくか？ (基本的にはパワーポイントを使って、疑似体験の様子をまとめて下さい。)



学習の進め方

高齢者の方々と
話し合ってみよう

1. テーケア施設について
2. テーケア施設訪問
見学と話し合い
3. 地域老人会の方々との
話し合い
4. 体験結果のまとめ。（パ
ワーポイント、ワード、手書き テジカメなども
使って）



学習の進め方

テーマ施設での話し合いのポイント

1. 自己紹介
2. 楽しくお話をするための工夫
話題、遊び、相手の様子や立場を想像して変化対応
3. 余裕があるなら、
「私たちにしてほしいこと」
「高齢者がすみよい町」についての話題ではなす。

学習の進め方

地域老人会の方々と話し合いのポイント

1. 自己紹介
2. 楽しくお話をするための工夫
話題、遊び、相手の様子や立場を想像して変化対応
3. **できるだけこちらを重点に**
「私たちにしてほしいこと」
「高齢者がすみよい町」についての話題ではなす。

高齢者疑似体験でまとめること

1. 疑似体験を通して 高齢者について新たに学んだこと。
2. 高齢者の方々と話しあってわかったこと。新たに学んだこと。
3. 高齢者に対して「自分は何ができるか」「高齢者も住みやすい町」とはどのような町なのかあなたの意見を述べる

最後の最後

学習をふり振り返り

「やさしさってなんだろうな？」を定義してみよう

「やさしさってなんだろうな？」をもう一度見直してみよう。

高齢者疑似体験（6年）
車いす体験（5年）
聴覚障害疑似体験（4年）
視覚障害疑似体験（3年）
ことばあそび（1, 2年）

**今までの
ぎじ体験**

ことばの障害ぎじ体験

さめきのしりとり

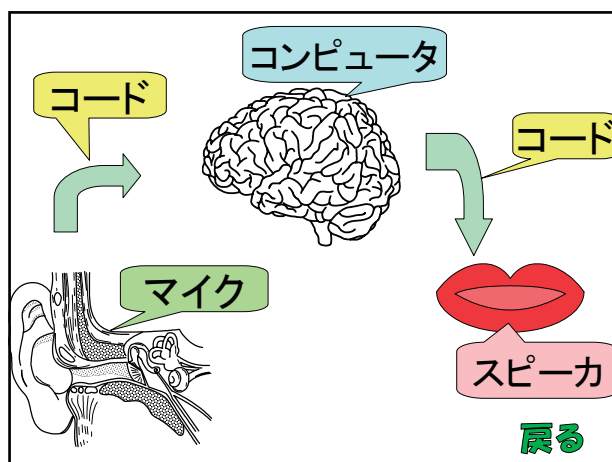
○かな

○しみ

展る

難聴ぎじ体験

口パクビデオ



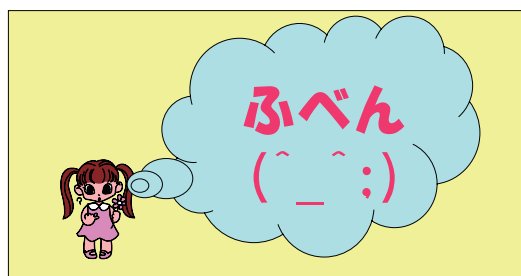
視覚障害ぎじ体験



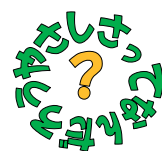
戻る

車いすぎじ体験

体験してみると

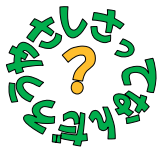


戻る



基礎知識

高齢者について



基礎知識

1. 高齢者の人口は？

2. 年をとって？

- ① からだ の 変化
- ② まわり の 変化
- ③ こころ の 変化

3. 高齢者も・・・



基礎知識

日本の人口は

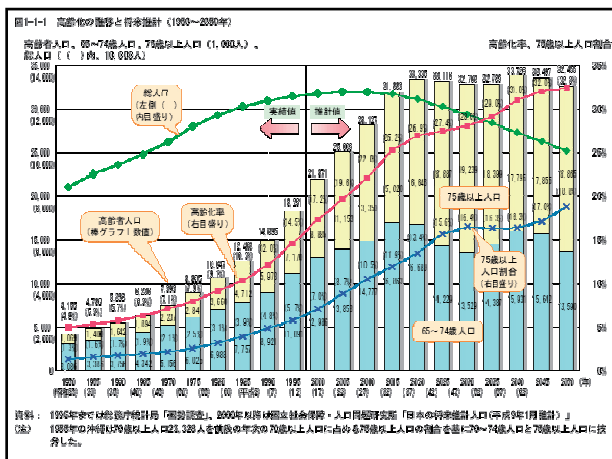
127, 470, 000人

高齢者(65歳以上の)人口は

23, 620, 000人

高齢者の割合は

18. 5% = 5. 4人に1人



高齢者体験

体験内容の例えば・・・



授業を受けるほかにも、アイデア次第で、いろいろな体験ができる・・・



標準的な疑似体験内容

視覚	弱視ゴーグル
聴覚	聴覚障害セットの利用
触覚	軍手
手足	おもり(両手足 片方だけでも) ひざ(片方のみ)・ひじ(利き手片方)
移動	車いす(3台あります)



弱視

弱視ゴーグルをかけて、廊下をあるく。
国語辞典をひく。
細かい字を素早く読む。



難聴



難聴疑似体験セットをつける。
友達がひそひそ話をするとど
んな気持ち？
ひそひそ声の指示を聞く。
ひそひそ声でしりとり。

触覚

手袋をしたまま、
財布のお金を素早く出す。
国語辞典のことばをひく



歩行

1歩で約20センチ
1分間に約50歩。
友達と一緒にあるいて
みよう。正門から教
室の机まで。



人混み

弱視メガネや膝がよく動
かない装具をつけて、
休み時間の廊下をある
いてみよう。
予測できない方向や場所
からいきなりたくさん
の子どもたちがでてく
る。



体験グッズ



	goods	数
1	足首おもり(1kg)	16
2	手首おもり(0.5kg)	22
3	軍手	6足
4	弱視ゴーグル(完成品)	7
5	ひざ拘束	6
6	ひじ拘束	6
7	足ひも	7
8	聴覚障害セット	10
9		
10		